

## 令和7年度練馬区災害医療運営連絡会専門部会（第1回） 会議概要

- 1 日時 令和7年8月27日（水）午後7時00分～7時40分
- 2 形式 Web会議
- 3 出席 近藤委員、酒向委員、黒田委員、小田委員、江原委員、野村委員、光定委員、後藤委員、伊藤委員、内田委員（地域医療課長）、吹野委員（危機管理課長）、和田委員（関保健相談所長）  
欠席 飯田委員
- 4 公開可否 非公開（Web会議のため）
- 5 次第
  - 1 開会
  - 2 議題
    - (1) 令和7年度検討課題
      - ・「医療救護所における備蓄医薬品の見直し（代替医薬品の検討など）」について
      - ・その他（委員提案事項など）
    - (2) 医療スタッフ用簡易マニュアル（カレンダー型）2026について
  - 3 報告事項
  - 4 その他
  - 5 次回日程
- 6 資料
  - 資料1-1 医療救護所における備蓄医薬品の見直し（代替医薬品の検討など）について
  - 資料1-2 備蓄医薬品一覧
  - 資料1-3 ご意見・ご質問シート
  - 資料2 医療スタッフ用簡易マニュアル（カレンダー型）2026（案）
  - 資料3 報告事項まとめ
- 7 事務局 練馬区地域医療担当部地域医療課管理係  
電話 03-5984-4673（直通）

## 会議の概要

---

### 1 開会

(部会長)

ただいまから令和7年度練馬区災害医療運営連絡会専門部会（第1回）を開催する。

【委員自己紹介】

### 2 議題

(1) 「医療救護所における備蓄医薬品の見直し（代替医薬品の検討など）」について

【資料1-1～1-3について事務局から説明】

(部会長)

昨年度の専門部会で検討課題とした内容である。事務局から説明のあったとおり、見直し内容の検討にあたっては、練馬区薬剤師会に多大なるご協力をいただいた。薬剤師会より、補足があればお話をいただきたい。

(委員)

医療救護所の備蓄医薬品であるため、品目を絞ってもいいのではという議論もあった。しかし、練馬区の医療救護所はすぐそばに病院がないことと、現在の備蓄医薬品は安定化治療に必要な種類が揃っていることから、品目を減らすという観点は除外して検討を行った。

事務局の説明にもあったとおり、医薬品の流通が不安定な点が一番の課題である。また、一般的に使用されなくなり、ランニングストックが困難になった品目も存在する。これらの状況を踏まえ、今回の見直し案に至った。

卸業者などによれば、時間がかかるものの入手可能な医薬品や、場所によっては入手可能な医薬品もあるとのことだが、品目見直し後も流通の不安定さは継続する可能性が高い。入手困難な医薬品については代替品に変更できるなど柔軟な対応が可能になると、ランニングストックが容易になるのではという見解もある。

(委員)

入手困難な医薬品があるのは、日々の診療の中で実感している。確保できた医薬品でできる対応を模索するしかない。様々な事象を想定し、幅広い医薬品を備蓄すべきだという意見も理解できるが、費用対効果を念頭に置いて選定管理をしていくことも必要である。薬剤師会の方針に賛成する。

(委員)

品目を絞るという件については議論があるため、意見募集の内容を踏まえて検討を行う。

(部会長)

別紙1-3によりいただいた意見は薬剤師会と調整の上、改めて報告する。

このほか、今年度の検討課題である「災害医療に関する課題整理」について、各委員から提案事項や意見等はあるか。

【意見なし】

(2) 医療スタッフ用簡易マニュアル（カレンダー型）2026について

【資料2について事務局から説明】

(部会長)

何か質問や意見はあるか。

【意見なし】

### 3 報告事項

【資料3について事務局から説明】

(部会長)

委員の皆様のご協力により、充実した災害医療体制を構築できている。改めて感謝申し上げます。何か質問や意見はあるか。

(委員)

安否確認システムについて、メールアドレスと電話番号のどちらを使用して通信を行うのか。

(事務局)

主に電話番号を使用するが、予備でメールアドレスも収集している。

(委員)

病院でも安否確認システムの運用に苦慮している部分がある。成果など共有してほしい。

(部会長)

システム導入後の運用状況については、都度報告させていただく。

(委員)

今後、LINE WORKSは使用しなくなるという認識でよいか。

(事務局)

災害時医療機関や協定団体との連絡には引き続きLINE WORKSを使用する。安否確認システムは、医療救護所に参集する四師会要員および登録看護師の安否確認時に使用する。使用者に応じて、システムの仕分けを行った。

(委員)

LINE WORKSは、最近の定期配信で運用を把握できていたところであったため、確認した。

(部会長)

LINE WORKS導入以降の運用検証の中で、代替システムで対応可能な部分もあることが判明したことから、このような整理に至った。今後の進捗については、こまめに情報共有を図る予定である。

(委員)

災害時医療機関の区分変更について、資料2のP26では辻内科循環器科歯科クリニックが災害拠点連携医療機関として掲載されたままである。

(事務局)

災害医療支援医療機関に区分変更した際に、該当箇所を修正を行う予定である。

### 4 その他

(部会長)

全体を通して、委員から報告・質問等はあるか。

【意見なし】

## 5 練馬区災害医療運営連絡会の日程について

(部会長)

今年度の災害医療運営連絡会については、冒頭の案内どおり、年2回の開催を予定している。次回の会議は、1月を予定している。各委員には、後日事務局から連絡させていただく。

## 6 閉会

(部会長)

以上をもって、令和7年度練馬区災害医療運営連絡会専門部会（第1回）を終了とする。